

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択	○	学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
パターンメイキングⅢ									76			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・パターン研究を通して、デザイン画を読み取る力、ドレーピング技術、平面展開の応用技術を修得する。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・コレクションブランドの難易度の高いデザインを、ファーストパターン作成～トワル～修正～完成パターン作成までできるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	14	各自目的に合わせて研究テーマ設定 (最低3アイテム) 各アイテムのパターン作成(ドレーピング及び平面製図) トワル組み立て・確認・修正 パターン修正とトワルの再組み立て・確認・トワル両身組み上げ 完成パターン										
5月	16	トワル写真撮影(トワル両身組み上げ) 縫製→作品制作 レポート提出 *各自スケジュール表に基づき進めていく *前期テスト										
6月	23											
7月	12											
9月	11											
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50％・提出物50％ *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択	○	学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
パターンメイキングⅢ									90			
担当教員	本田 茂貴				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・パターン研究を通して、デザイン画を読み取る力、ドレーピング技術、平面展開の応用技術を修得する。 ・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	コレクションブランドの難易度の高いデザインを、ファーストパターン作成～トワール～修正～完成パターン作成までできるようになる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	20	各自目的に合わせて研究テーマ設定 (最低3アイテム) 各アイテムのパターン作成(ドレーピング及び平面製図) トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン トワール写真撮影(トワール両身組み上げ) 縫製→作品制作										
11月	17	レポート提出										
12月	15	＊各自スケジュール表に基づき進めていく										
1月	13											
2月	15	＊後期テスト										
3月	10											
留意事項		90										
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50％・提出物50％ ＊試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									121			
担当教員	本田 茂貴/吉永 あすか				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用出来るようになる。											
	・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。											
到達目標	・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製まで出来るようになる。											
	・マイブランドにおいて、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)が出来るようになる											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	24	PD3の共通課題 前期3コーディネート制作 ★サマーコンテスト作品製作(3作品) ・デザイン画のバランス通りにシルエット表現できる ・素材の特性に合わせたドレーピングが出来る ・仕様・工程が考えられたパターンメイキングが出来る ・素材に合わせた裁断・縫製方法がとれる ・就職活動を視野に入れて計画的に取り組む。 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく										
5月	28											
6月	32											
7月	20											
9月	17											
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名		プロフェッショナルデザイン科										
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
服飾造形論Ⅱ(ソーイング、ドレーピング、PM)									160			
担当教員	本田 茂貴/(吉永 あすか)				科目区分	講義		演習		実習	100%	
実務経験者の授業科目			○	経験内容	経験年数:13年 業務内容:レディースアパレルメーカー(東京コレクション参加ブランド)～婦人服アパレルメーカーにてデザイナー、パタンナーアシスタント～パタンナー及び生産管理業務に従事。平成17年～通常業務に加え、海外工場の指導、生産管理担当者に就任。							
授業との関連性				アパレル企業での実務経験で培ってきた衣服制作における実用性の高い知識と技術を指導するとともに学生独自の世界観を引き出し、クリエイティブな作品制作を指導。								
授業目的		・素材の特性を理解し、素材に合ったデザイン、パターン製作～縫製仕様まで幅広く理解し応用出来るようになる。										
		・個別カリキュラムを通して主体性・協調性・多様性・独創性を身につける。										
到達目標		・素材、デザイン、ターゲットに合った、パターン作成、展開から縫製まで出来るようになる。										
		・マイブランドにおいて、Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)が出来る様になる										
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	32	ブランドデザインのパターンメイキング(最低3コーディネート) 各アイテムのパターン作成、 各自のデザインに応じてテクニック&テキスタイル実験と様々な縫製テクニックの研究 トワール組み立て・確認・修正 パターン修正とトワールの再組み立て・確認 完成パターン→工業用パターンへ										
11月	32	縫製仕様書作成、工程分析作成 裁断→縫製 *各自縫製スケジュール表に基づき進めていく										
12月	24	*3月出店予定のオリジナルショップ商品作成										
1月	24											
2月	32	*卒業企画発表										
3月	16											
留意事項												
教材、資料等		・必要に応じて適宜用意										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									16			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・独自のアイデア表現を更に追求し、デザイン画のクオリティーを高める ・デザイン画をよりスピーディーに描く技術の習得											
到達目標	・コンセプト、テーマ、素材等の表現をより解りやすく描く技術の習得											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	13	各種コンテスト作品										
5月		・YKKファスニングアワード										
6月		・ナゴヤファッションコンテスト										
7月		・日暮里ファッションデザインコンテスト										
		・全国ファッションコンテスト										
	1	・連鎖校協会ファッションデザイン画コンクールなど										
9月	2	夏季休暇課題について										
		全国服飾学校コンクール作品(教育振興協会)										
		千年大賞作品										
留意事項												
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル										
評価方法 対象・比重		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
デザイン画									18			
担当教員	吉永あすか				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	・独自のアイデア表現を更に追求し、デザイン画のクオリティーを高める											
	・デザイン画をよりスピーディーに描く技術の習得											
到達目標	・コンセプト、テーマ、素材等の表現をより解りやすく描く技術の習得											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	2	*コンテスト作品 ・全国服飾学校ファッション画コンクール										
	11月	5	*各自デザイン画の追求、見直し ・デザイン画を描く上で得意不得意を把握する									
12月			7	*オリジナルコレクション ・各自ブランドのコレクションデザインを描く								
1月												
2月	3	*ファイル作成 ・デザイン資料として次学年でも活用できるように、これまでの作品をファイルにまとめる										
3月	1	一年間のまとめ										
留意事項												
教材、資料等		・文化ファッション大系服飾関連専門講座④ファッションデザイン画 ・自作ファイル										
評価方法 対象・比重		・提出作品70%・提出状況15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点) 良(79~70)(GP 2点)、可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科3年, ファッション流通ビジネス科年、ブライダル科1年											
分類	必修	○	選択		学年	1,3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
一般教養									19			
担当教員	徳永隆裕				科目区分	講義	70%	演習	30%	実習		
授業目的	社会人として要求される一般常識及びヒューマンスキルを身につけ、併せて就職試験で求められる一般教養試験へ対応できるようにする。											
到達目標	就職試験で課される一般教養試験(国、数、英、社、時事等)で60%以上の得点が取得できるレベルと、SPI 試験の内容の理解。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	・科目ガイダンス ・就活の心得 年間スケジュール、就活サイトの活用等 ・自己分析										
11月	2	・企業研究 会社形態、会社組織、企業理念、経営指標等 ・業界研究										
11月 12月	5	・SPI対策 問題解説、筆記テスト対策										
1月	2	・履歴書対策 ・面接対策 演習 等										
2月	3	・グループディスカッション ・業界研究										
3月	3	・面接、GD個別指導 等 ・期末テスト										
留意事項												
教材、資料等		テキスト、新聞・ネット等からの業界及び企業情報										
評価方法 対象・比重		*試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89~80)(GP 3点)、良(79~70)、(GP 2点)可(69~60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
英会話									15			
担当教員	嶋田 有華				科目区分	講義		演習	30%	実習	70%	
授業目的	英語の基礎能力を高めること。 自己表現力を高め、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。											
到達目標	英語を上達させ、英語でのコミュニケーションができるようになる。 英検取得											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	3	年間目標 基本的な会話 コミュニケーション、ファッション、ビジネスマナー コミュニケーションとは何か、役割、種類 ロールプレイング										
5月	5	読書と理解 話し方と聞き方 ビジネスマナー(基本的なビジネスエチケット)の重要性										
6月	3	社会人としての意識 自己啓発										
7月	2	プレゼンテーション										
8月												
9月	2	ヒアリングテスト、リスニングテスト、筆記テスト										
留意事項	準会場申し込み要・試験代は生徒が自己負担。											
教材・資料等	英会話の本・英検過去問題											
評価方法 対象・比重	期末テスト * 試験、課題制作物とも優(90点以上)(GP4点)、良° (89~80)(GP3点)、 良(79~70)、(GP2点)可(69~60)(GP1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
英会話									20			
担当教員	嶋田 有華				科目区分	講義		演習	30%	実習	70%	
授業目的	英語の基礎能力を高めること。											
	自己表現力を高め、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。											
到達目標	英語を上達させ、英語でのコミュニケーションができるようになる。											
	英検取得											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	4	自由コミュニケーション (Q & A)										
		課題 英語 学習技術 (ロールプレイ)										
11月	4	自由コミュニケーション、フォーマルコミュニケーション										
		インフォーマルコミュニケーション、コロナを通して学んだこと										
		Stay home activities (自由 課題 本 を選び 自由)										
12月	3	読解と理解 話し方、自信をつける話方 ノウハウ ビジネスマナー、重要性										
1月	3	社会人としてとしての自覚ロールプレイ自己啓										
2月	3	リスニング テスト (Q & A)										
3月	3	復習 ヒアリングテスト、筆記テスト										
留意事項	準会場申し込み要・試験代は生徒が自己負担。											
教材・資料等	英会話の本・英検過去問題・その他適宜用意											
評価方法 対象・比重	期末テスト * 試験、課題制作物とも優(90点以上)(GP4点)、良° (89~80)(GP3点)、良(79~70)、(GP2点)可(69~60)(GP1点)、不可(59点以下)の判定とする。											

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									授業時間数			
企画									26			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを学ぶ。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行ったうえで企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	2	＊トレンド分析 A/W コレクション分析										
	2	リサーチと分析(ディスカッション)を行い、ボードにまとめる。										
5月		(デザインの潮流・シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど)										
	2	・注目トレンドのリサーチ										
	2	・トレンド検証 (メガトレンド、ジェネラルトレンド、コレクショントレンド、マーケットトレンド)										
	2	↓・現シーズンS/S マーケットの検証 ・次シーズンS/S コレクションの予測										
6月	2	プレゼンテーション										
	2	＊オリジナルブランド企画 ターゲット・ブランドコンセプトの確認										
		シーズンテーマの設定とイメージ										
	2	MD企画(コーディネートイメージ・商品構成～素材サンプル収集)										
7月	2											
	2											
		＜イベント 準備日＞										
9月	2											
		＜期末テスト＞										
	2	・企画、トレンドファイル提出										
	2	↓ プレゼンテーション										
留意事項												
教材、資料等		・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・ファッションビジネス2級 ・参考資料プリント										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50％ ・提出物40％ ・取り組み姿勢10％ *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									授業時間数			
企画									40			
担当教員	原賀 友子				科目区分	講義	60%	演習	40%	実習		
授業目的	企画書、ポートフォリオの作成に必要なプロセスを理解し、基本のスキルを学ぶ。											
到達目標	企画に必要なリサーチと分析を行ったうえで企画書を作成し、プレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	2	*トレンド分析 S/S コレクション分析										
	2	リサーチと分析(ディスカッション)を行い、ボードにまとめる。										
	2	(テーマ・シルエット・色・柄・素材・ディテール・アイテムなど)										
	2	・注目トレンドのリサーチ										
11月	2	↓ ・現シーズンA/Wマーケット検証 ・次シーズンA/Wコレクションの予想										
	2	プレゼンテーション ・トレンドファイル提出										
	2	*オリジナルブランド企画 シーズンテーマの設定とイメージ										
	2	MD企画(コーディネートイメージ・商品構成～素材サンプル収集)										
12月	2											
	2											
	2											
	2											
1月	2											
	2											
	2											
	2											
2月	2											
	2											
	2											
3月		< 期末テスト >										
	2	↓ ・企画書提出										
	2	ブランド企画のプレゼンテーション										
留意事項												
教材、資料等		・ファッション販売3、2 ・ファッションビジネス〔Ⅰ〕改訂版 ・ファッションビジネス2級 ・参考資料プリント										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50% ・提出物40% ・取り組み姿勢10% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、 (GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期	○	後期	
授業科目名									総単位時間数			
アパレル企画Ⅱ									76			
担当教員	原賀友子				科目区分	講義		演習	50%	実習	50%	
授業目的	自身のブランドターゲットとコンセプトを見つめなおし、時代を捉えたテーマ設定をし、企画書のさらなるレベルアップを目指す。お店に並ぶことを見据えた品揃え展開と時期など、販売に繋がることを意識した計画を立てる。											
到達目標	自分の品揃えがブランドコンセプトとシーズンテーマに合っているか、時代に求められるものであるかなど客観的に見直しながら、問題点、修正点を自ら気づける力を身に付ける。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
4月	14	各自、就活に合わせた目的と目標設定(A4) スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
5月	16	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
6月	23	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
7月	12	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
9月	11	スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ 前期テスト										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌 等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト70%・提出物15%・取組姿勢15% *試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										

学科名	プロフェッショナルデザイン科											
分類	必修	○	選択		学年	3	年	学期	前期		後期	○
授業科目名									総単位時間数			
アパレル企画Ⅱ									90			
担当教員	原賀友子				科目区分	講義		演習		実習	100%	
授業目的	各自の方向性に応じたカリキュラムに基づき、ターゲットとコンセプトに合った、なおかつ過去と今を踏まえた未来を予測した企画力とプレゼンテーション力を修得する。											
到達目標	就活に必要な企画書やポートフォリオの作成と、説得力のあるプレゼンテーションができる。											
授業内容(授業展開)												
時期	コマ数	授業内容										
10月	20	各自、将来の進路に合わせて目的と目標設定 スケジュール立案 各自別途調整 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
11月	17	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
12月	15	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
1月	13	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
2月	15	スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ										
3月	10	*後期テスト スケジュール立案 各自進捗状況を報告→チェック→ブラッシュアップ *ポートフォリオ、企画書提出 プレゼンテーション										
留意事項												
教材、資料等		コレクション雑誌、織研新聞等										
評価方法 対象・比重		・評価テスト50%・提出物50% ・試験、課題製作物とも優(90点以上)(GP 4点)、良°(89～80)(GP 3点)、良(79～70)、(GP 2点)可(69～60)(GP 1点)、不可(59点以下)の判定とする。										